

時間割コード	G1D11816	開講年度	2026				
授業題目	クリティカル・リーディングⅡ(上級)				担当教員	KING KIRK ASHLEY	
英文授業名	Critical ReadingⅡ						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・4時限	対象学生	
講義室	共通教育 5 5 講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Critical Reading I に引き続き、様々なジャンルの英文(雑誌・新聞、文学作品、映像作品のスク립ト、討論、講義、講演等)の内容や意図を正確に把握し、分析・解釈・評価等を行うことにより、アカデミックな英文をクリティカルに読み解く姿勢を身につけていく。その際、クリティカルな読解力・思考力の育成に配慮した教材を用いて、分析、解釈、評価などのスキルが身につくよう工夫する。 (Critical Readingとは、単に文章を訳し理解する受動的な読解のことではなく、より積極的に文章の内容や意図を吟味し、分析・解釈・評価する読解のことを意味する。)						
(5)授業のキーワード	Critical Reading Critical Thinking						
(6)授業計画	第1回 授業概要の説明、教科書の紹介、主要プロジェクト(エッセイ)の概要、「R&R」(リーディング・アンド・リポーティング)の説明・準備、教科書 UNIT 7 第2回 R&R、エッセイライティング・スキル1、教科書 UNIT 7 第3回 R&R、エッセイライティング・スキル2、教科書 UNIT 8 第4回 R&R、エッセイライティング・スキル3、教科書 UNIT 8 第5回 R&R、エッセイライティング・スキル4、教科書 UNIT 9 第6回 R&R、エッセイライティング・スキル5、教科書 UNIT 9 第7回 クイズ1 (UNITS 7-9)、R&R、エッセイライティング・スキル6 第8回 R&R、エッセイライティング・スキル7、教科書 UNIT 10 第9回 R&R、エッセイライティング・スキル8、教科書 UNIT 10 第10回 R&R、エッセイライティング・スキル9、教科書 UNIT 11 第11回 R&R、エッセイライティング・スキル10、教科書 UNIT 11 第12回 R&R、エッセイライティング・スキル11、教科書 UNIT 12 第13回 R&R、エッセイライティング・スキル12、教科書 UNIT 12 第14回 クイズ2 (UNITS 10-12)、R&R、エッセイ提出の締切 第15回 R&R、授業アンケート、まとめ 第16回 期末テスト						
(7)成績評価の方法	期末テスト 50% クイズ 20% エッセイ課題 20% 課題 10%						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・授業各回で事前事後学習について指示しますので必ず行ってください。また、授業で学んだ語彙・表現・文法事項などをしっかり復習して下さい。						
(10)履修上の注意	・授業には教科書と充電済みのノートパソコン(または同等の端末)を必ず持参してください。 ・授業開始時に机上のQRコードで出席登録を行ってください。登録しない場合は欠席扱いとなります。出席管理は自己責任です。 ・授業には時間までに必ず到着してください。遅刻は認められません。欠席は体調不良ややむを得ない事情に限ります。 ・欠席した場合は、eALPSで授業内容を確認し、同級生に情報を共有してもらってください。それでも不明な点は教員にメールで問い合わせてください。 ・eALPSページと大学メールは随時確認してください。 ・授業時間を有効に使い、集中して学習してください。教科書・教材を揃え、考え、協力し、積極的に参加できる状態で臨んでください。						
(11)質問,相談への対応	授業内容や履修に関して質問や相談がある場合は、授業中またはメール(k_king@shinshu-u.ac.jp)で担当教員にお問い合わせください。						

(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	Brown, Culligan, and Phillips In Focus 2 ISBN 978-4-7647-4194-2 Kinseido 2024 \2700
【参考書】	授業では、英語の単語を迅速に調べたり翻訳したりできる手段（電子辞書、オンライン辞書、紙の辞書など）を必ず用意してください。